

# 連携協働通信「架け橋」

令和6年8月21日

横浜市教育委員会 学校支援・地域連携課 発行 NO. 39

各学校や地域における地域学校協働活動の推進を目的に、地域と学校の連携・協働に関する情報を発信する連携協働通信「架け橋」を発行しています。当課のWebサイトでもご覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/chiiikirenkei/gakkoushien.html>

## 学校・地域コーディネーター養成講座② 報告

第二回の学校・地域コーディネーター養成講座（7月10日、11日）では、学校運営協議会についての制度理解や委員としての役割について、教育委員会事務局より説明を行いました。地域学校協働本部の具体的な活動事例として、梅林小学校、茅ヶ崎東小学校・茅ヶ崎中学校の活動について、学校・地域コーディネーターさんより紹介していただきました。

～各学校の「地域学校協働活動」の具体的な活動内容について、ワークシートをもとにお話いただきました～

**磯子区 梅林小学校 梅っ子応援隊**

【学校教育目標】  
 ①自分を大切にします(知・情)  
 ②仲間を大切にします(会・情)  
 ③心を大切にします(徳)

【教育課程全体で育む目指す資質・能力】  
 1. 主体的に考える力  
 2. 思いや考えを伝える力  
 3. 思いや考えを伝え、そのまますまやうに受け、思いや考えを尊重する姿勢

**横浜市立梅林小学校 梅っ子応援隊**

「出会い ふれあい 学びあい 心がかよふ梅林の丘」

【活動内容】

- 梅っ子ボランティア
  - 新一年生が学校生活に慣れ親しむサポート
  - 家庭訪問(訪問授業・森遊) サポート
  - プール見守りボランティア
  - まち歩き見守りボランティア など
- 梅っ子ボランティア
  - クラブ・ボランティア
  - フットボールボランティア
  - 園遊会ボランティア
  - 目的の達成!
- 梅っ子応援隊ワークシート
  - 梅っ子応援隊の活動内容
  - 梅っ子応援隊の活動内容
  - 梅っ子応援隊の活動内容
- スマイルリーダー
  - 市内道徳教育科以外の地域活動の推進
  - 梅っ子応援隊の活動内容
  - 梅っ子応援隊の活動内容

梅っ子といえば「梅」。校庭には50本の梅が植えられています。梅造りのボランティアも特徴的です。「梅ジュース」「梅ジャム」などのサポートは人気のあるボランティアの一つです。

・コーディネーターさんが中心となって、現在、登録されている80名程度のボランティアさんに、活動内容を事前に呼びかけるなどの工夫をしながら、学校のニーズに合わせてみんなが楽しく活動できるように心がけているそうです。

・学校の特色でもある「梅」に関連するボランティアも人気のことです。

「ちいきと がっこうが ささえあい きずいていく」を合言葉に、茅ヶ崎中学校区でも連携を密にしながら運営されています。

・ボランティアさんには、バッジと活動内容を示したシールを貼った名札を用意され、地域の方や大学生も積極的に参加されています。

・子どもたちと顔の見える関係づくりの工夫も。

### 都筑区 茅ヶ崎東小学校 茅ヶ崎中学校 「地域学校協働本部」

【学校名・団体名】茅ヶ崎東小学校・茅ヶ崎中学校 地域学校協働本部

【学校教育目標】「笑顔いっぱい 夢いっぱい 未来を創る梅っ子」

- ◎心身共に元気に生活し、心豊かに育ち、夢をかなげる子どもを育てます。(知)
- ◎心と体を鍛え、自ら心と体の健康づくりを進め、心豊かな子どもを育てます。(体)
- ◎「夢」のふれあいを大切に、共に生きる子どもを育てます。(会)
- ◎さまざまな状況の変化に、柔軟に対応できる子どもを育てます。(徳)

【教育課程全体で育む目指す資質・能力】

- 1. 主体的に考える力 2. 思いや考えを伝える力 3. 思いや考えを伝え、そのまますまやうに受け、思いや考えを尊重する姿勢

【活動内容】

- 梅っ子ボランティア
  - 新一年生が学校生活に慣れ親しむサポート
  - 家庭訪問(訪問授業・森遊) サポート
  - プール見守りボランティア
  - まち歩き見守りボランティア など
- 梅っ子ボランティア
  - クラブ・ボランティア
  - フットボールボランティア
  - 園遊会ボランティア
  - 目的の達成!
- 梅っ子応援隊ワークシート
  - 梅っ子応援隊の活動内容
  - 梅っ子応援隊の活動内容
  - 梅っ子応援隊の活動内容
- スマイルリーダー
  - 市内道徳教育科以外の地域活動の推進
  - 梅っ子応援隊の活動内容
  - 梅っ子応援隊の活動内容

梅っ子といえば「梅」。校庭には50本の梅が植えられています。梅造りのボランティアも特徴的です。「梅ジュース」「梅ジャム」などのサポートは人気のあるボランティアの一つです。

磯子区 梅林小学校 「梅っ子応援隊」

その後、学校運営協議会に関することや、学校・地域コーディネーターとして活動していくにあたり疑問に思うことなどをグループで共有しました。各グループの代表として選出された質問者が、記者になり切って教育委員会事務局や講師に疑問をぶつけ、回答を聞く、「ミート・ザ・プレス」という手法を活用したインタビュー形式のワークを行いました。



実際の質問と回答を紹介します。

Q：「ボランティアの募集の仕方は？」

A：梅林—3月にお手紙を出し、募集→Google フォームで登録してもらう。地域の方には、口コミで伝えるのがほとんどなので、手書きで申し込みをしてもらっている。卒業生の保護者などもボランティアとして残ってくれている。

茅ヶ崎—ボランティアは、地域の人に特化している。コーディネーターの繋がりや顔見知りの方に声かけしている。

Q：「コーディネーターさんの活動費は、どのように振り分けられているのか？」

A：13万円を予算立てする。消耗品費・講師代などかかるお金も多岐に渡る。使い道は限られているので、会計担当や学校と相談しながら進め、分からないことがあるときには、方面の学校教育事務所にすぐ電話して聞くようにしている。

Q：「それぞれの学校が、10年かけてここまでやられてきてすばらしい。立ち上げ1～2年で、大変だったことは？また、これからの展望は？」

A：梅林—ゆるやかに始め、当時のはまっ子や図書ボランティアなどの方たちとも相談しながら進めた。ボランティアが増えることで、学校に負担をかけてはいけないと思っていた。ボランティアさん向けのパンフレットには、「今やっていることも、やらなくなることがある。逆に、新しいことを始めるときもある。」と明記している。学校のニーズに応じて、活動することを心がけている。

茅ヶ崎—最初のころは、コーディネーターという存在が認知されなかった。グッズなどを作ったり、既存の組織や地域などに声をかけたりして、周知をはかった。これからも、負担を感じることなく楽しんでやれるようにしたい。

その他、様々な質問に対しては、学校・地域コーディネーター、教育委員会事務局、元管理職、教職員等の立場から具体的な事例をもとに回答させていただきました。参加者の皆様は、積極的に発言したり熱心に耳を傾けたりしながら、それぞれ学校運営協議会や地域学校協働本部の活動について理解を深めていました。

## 研修の振り返り

(アンケートより抜粋)

- ・学校運営協議会の内容から、地域コーディネーターの役割に対する理解が深まり、様々なつながりの重要性を感じました。
- ・具体的に地域学校協働活動内容が聞けて、大変参考になった。

- ・活動しているコーディネーターさんのお話を聞くと、驚くことが多いですが、自分のできることで楽しく活動することが、長く続けられる秘訣だと思いました。今日お話しくださった2校の方は、とても生き生きしていらしたそうです。
- ・座学だけでなく、他校の方々とたくさん活動内容を話すことができ、身になりました。
- ・学校での活動に活かせる内容が多く、早速進めたいと意欲がわきました。
- ・他区の方との交流は、とても勉強になる。地域や住む場所によって、地域の立場や必要性は違い、コーディネーターの重要性・持続性をさらに感じた。
- ・今年度の受講後も、つながれる仲間とともに、今後も学びを深めたいと思います。
- ・楽しく受講できる工夫がされていたと思う。グループ内での情報交換の時間がもう少しあればと思った。

## 地域と学校の連携・協働による学校運営の改善研修② 報告

7月1日、7月4日に地域と学校の連携・協働による学校運営の改善研修を実施しました。

今回は、学校運営協議会会長や委員の方々、学校・地域コーディネーター、教職員を対象にした研修を行いました。

前半は、学校教育目標の実現に向けて、学校運営のPDCAサイクルを推進する上で、学校運営協議会の役割や効果がどのようなものなのかについて説明しました。また、学校運営協議会の推進役としての役割についてもお伝えしました。

また、講師として明星大学教育学部 特任教授の朝倉美由紀様を迎え、『「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」の一体での推進～子どもたちを真ん中に～』をテーマに、講演いただきました。講演では、ご自身の豊富な経験をもとに、子ども・学校・地域の今日的課題や制度としてのコミュニティースクールについてお話いただきました。そして、コミュニティースクールと地域学校協働活動の一体的推進を進める上での、コーディネーターの役割や課題について具体的事例を挙げながら説明いただきました。



後半では、朝倉先生の講義の内容をもとに、以下の内容でグループ協議を行いました。

### ①熟議をしましょう！

- ・学校として目指す児童生徒像を共有し、「子どもたちに伝えたいふるさと（地域）のよさ」をテーマに、各自が自分の学校のよさについて考え、付箋にキーワードを書き出しました。
- ・それをもとにグループで共有し、共通する部分について深めました。

### ②「自校の地域と学校の連携協働について」

- ・所属されている学校で実践している連携協働活動や、日頃の活動の様子などを情報交換しました。

最後のまとめとして、朝倉先生からは、学校・地域コーディネーターが様々なネットワークにどのように働きかけ、仕組みづくりをしたり実践につなげたりしていくかを具体的に考えていくことが大切である、という今後の活動に向けたご示唆もいただきました。

朝倉先生の講演を通して、学校を含めたそれぞれの立場で関わる人たちが、主体的に考えるとともに、目指す児童生徒像を共有し本音で思いや考えを伝えあうことが大切であるという事を改めて感じました。

今回の研修には、2日間で約170人に参加いただきました。今後も、各学校の実践例や好事例等を引き続き発信していくとともに、教育委員会事務局としても正しい制度理解や地域と学校の連携協働に関わる人の役割等を伝え、周知をしていきたいと考えています。引き続きよろしくお願いたします。

# 研修の振り返り

(アンケートより抜粋)

- ・前向きに、笑顔で話し合いができるように、本音を引き出していきたいです。
- ・学校関係者・地域の方々と改めて話す機会や交流を行い、何をどうしていくかについて、ちゃんとコミュニケーションをとっていくことが大切だと考えさせられました。
- ・本日、朝倉先生が言われた「どのような生徒を目指すのか」というところが心に残った。まずは、学校運営協議会で確かめたい。
- ・開かれた学校を目指すために、最も身近である地域の人々に多方面にわたり協力を要請することで、連携をはかっています。朝倉先生の話は、実体験にもとづいて話されていて、とても分かりやすかったです。
- ・子どもたちが地域で育つ中、顔の見える関係づくりを学校や地域に提案できればいいなと思っています。

## 方面別 学校・地域コーディネーター研修及び交流会 ～参加者アンケートより～

5月下旬に実施した「方面別学校・地域コーディネーター研修及び交流会」で、日頃の活動における工夫や課題について、アンケートを実施しました。御覧いただき、それぞれの学校の活動に生かしていただければと思います。

### ①学校・地域コーディネーターとして活動していくにあたって、工夫していることがあれば教えてください。

#### 教職員・学校・地域とのつながり、コミュニケーション力

- ・校長、副校長、専任の先生方と少しでもお話し出来るようにしています。
- ・学校の意向を、よく聴くこと。
- ・学校の先生方の負担にならないようにしたいと考えています。
- ・学校との繋がり(先生方)がとても大事ですので、お互いによく話し合うことを工夫していきたいと思っています。
- ・年1回広報誌を作成、配布。毎月1回定例会をもち、コーディネーター間の情報共有をしています。
- ・顔を覚えてもらったり会話を増やすことによって、今後の活動にも広がると思っている。
- ・協力していただくボランティアの方には、卒業生の保護者の方にも積極的にお声がけしています。
- ・できる限り丁寧な対応を心掛ける。

- ・ただただ焦らず、楽しくやっていくこと。
- ・笑顔と挨拶、話しやすい空気感を作るよう心掛けています。
- ・とにかく、協力してくださった方々への感謝はキチンと伝える。

楽しむ・笑顔・感謝

#### 助け合い、無理をしない

・楽しい活動になるように無理はしないでください、と言っています。

- ・ほんとに必要な活動か、学校のニーズにあっているか見直すこと。
- ・校長先生の考えに添う。

学校のニーズを考える

#### ボランティアリーダー・先輩コーディネーターの意見を聞く

- ・ボランティアリーダーさんの意見を聞くようにしています。
- ・これからコーディネーターとして活動していくので、先輩コーディネーターさんに教えてもらいながら、よりよい活動ができるようにしていこうと思っています。

・町内会の広報誌などを使って、活動を知らせています。

広報誌などの媒体を使った周知

打ち合わせのスマート化

・先生方の働き方改革にあたり**会合のスマート化**(回数減、時間短縮)に努めている。

・年月を重ねても**毎年1年生、新人**と思い、学校とお付き合いする様に心掛けています。

初心を忘れずに

子ども中心！という意識

・**子ども中心**を忘れないように。

## ②学校・地域コーディネーターとして活動していくにあたって、困り感があれば教えてください。

- コーディネーターやボランティアの担い手不足・高齢化。
- 学校（教員）とのつながりやニーズを把握すること。
- 地域や保護者への周知・つながり。
- コーディネーター同士の連携・情報共有の不足。

など・・・

## ③ボランティアの募集や連絡は、どのように行っていますか。

### 【複数のツールを併用】

- ・学校を通じて保護者へのお便り(ボランティア登録書)、地域への回覧にて学校へ連絡、提出。
- ・応援隊ニュースを発行し、ボランティア募集や自主事業の予告などを伝えています。申込みは二次元コードからGoogle フォームを利用または、紙ベースのいずれかを選んでもらっています。急な募集などにはらくらく連絡網で対応しています。
- ・年1回説明会を開催している。保護者に手紙を配布し、参加希望者を募っている。また、専用のメールアドレスを作り、ボランティア希望者といつでも連絡がとれるようにしている。
- ・春に全校から募集(保護者)し、どのボランティアならできるか登録してもらおう。その後は、学校から依頼があれば、対象となるボランティアに登録している人に日時を手紙で知らせ、参加の可否を提出してもらおう。



### 【お便りやチラシ配付・回覧・掲示板】



【すぐーる】 ※すぐーるに関しては、学校とよく相談した上で、運用の依頼をしてください。

- ・今年度からすぐーるで連絡ができないか相談しています。
- ・現在は学校より、メールを配信していただいております。

など・・・

# 今年度の研修のお知らせ

※詳細は今後、発出する通知でご確認ください。

## 学校運営協議会委員及び学校・地域コーディネーター及び教職員合同研修

学校運営協議会委員、学校・地域コーディネーター、教職員を対象に研修を行います。  
ぜひ、学校運営協議会等で対象の方々にお声掛けください。

### 1 日時及び会場

	日 時	会 場
1	10月22日(火) 15:00～	花咲研修室
2	10月29日(火) 15:00～	花咲研修室

- 2 内 容 ○実践校（新鶴見小学校、市ケ尾中学校）による事例発表  
○グループでの情報交換

## 方面別 学校・地域コーディネーター研修・交流会②

学校・地域コーディネーターを対象に、今年度2回目の研修及び交流会を方面別に日時を設定して開催します。なお、1回目に実施した研修・交流会と内容は異なります。ぜひ、ご参加ください。

### 日時及び会場（今年度2回目）

	日 時	会 場
1	11月14日(木) 午前の部(東部方面) 9:30～ 午後の部(北部方面) 14:30～	花咲研修室
2	11月20日(水) 午前の部(西部方面) 9:30～ 午後の部(南部方面) 14:30～	花咲研修室

※方面別に日時を設定していますが、ご都合が悪い場合は他の方面の会に参加していただくことも可能です。

## 地域と学校の連携・協働による学校運営の改善研修

教職員を対象に研修を行います。  
教職員の方々にも地域と学校の連携・協働について知っていただきたいと考えています。  
ぜひ、地域連携の担当教職員など対象者への周知をお願いいたします。

※本研修は教職員育成課の研修と兼ねています。

### 1 日時及び会場

	日 時	会 場
1	12月5日(木) 15:00～	花咲研修室
2	12月10日(火) 15:00～	花咲研修室

- 2 内 容 ○認定 NPO 法人こまちぶらす理事長 森 祐美子 氏の講義を予定しています。  
○グループワーク

## 学校運営協議会の設置について

各学校の校長・副校長におかれましては、学校運営協議会の運営や設置についてご尽力いただき本当にありがとうございます。**令和6年4月時点で499校**に学校運営協議会が設置されています。**今回、10月の設置申請が令和6年度の最後の設置申請の機会**になります。設置申請に向けて**8月中に設置申請書類と委員名簿の提出**をお願いいたします。**（様式はY-CAN 学校支援・地域連携課のページに掲載）**

設置に向けた地域との調整や委員の選定、既存の組織の運用など様々な部分において、意識の醸成に時間が必要という学校においては、設置に関する相談や、地域の方・委員になられる方に対する説明などを学校支援・地域連携課が行うことも可能です。その場合はご相談に応じますので、ご連絡をいただきますよう、よろしくお願いいたします。各校において持続可能な活動となるよう研修等も行い、役割や制度について周知していく予定です。ぜひ協議会委員の方や教職員の方々にも研修の参加について、お伝えいただきたいと考えています。

### 学校運営協議会の10月設置について

	学校運営協議会 設置の機会
設置日	令和6年10月1日
申請書提出の締切日	8月中

○申請の際は、設置申請書と名簿を合わせてご提出をお願いします。（YCANに掲載）

※新規設置校については、第一回の学校運営協議会の際に教育委員会事務局から学校運営協議会委員の方々に委嘱状をお渡しさせていただきますので、開催日時が決まりましたお知らせください。

※学校運営協議会委員の方々に制度の説明や役割等をご説明させていただくことも可能です。その際は、学校支援・地域連携課がご説明に伺いますので、ご連絡をお願いします。

★すでに、学校運営協議会を設置されている学校におかれましては、協議会の熟議の内容や運営方法について、学校訪問などで個別に相談・説明させていただくことも可能です。その場合も、学校支援・地域連携課が説明にうかがいますので、ぜひご連絡ください。

引き続き、どうぞよろしくよろしくお願いいたします。  
学校支援・地域連携課 671-3278